



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(9月11日時点)

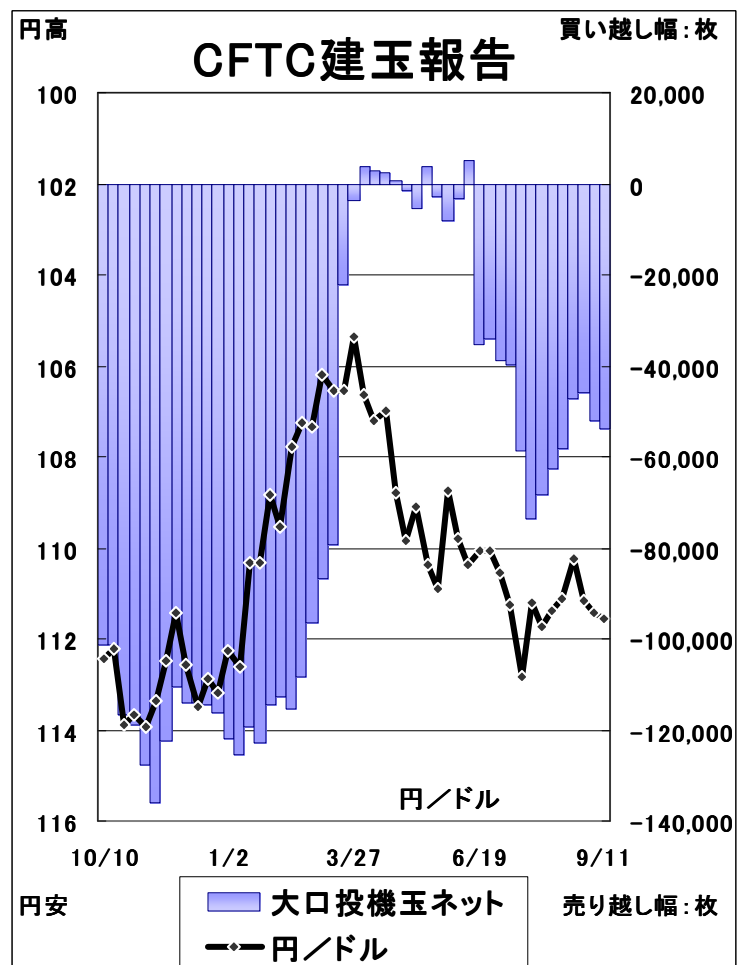
米商品先物取引委員会(CFTC)が9月14日に発表した建玉報告によると、11日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、5万3886枚となり、前週比1954枚拡大。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、買いポジションをより多く増やしていた。

期間中の円(対ドル)は軟調。トランプ米大統領が更に2670億ドル規模の対中追加関税を用意していると発言したことで、米国の通商政策に対する警戒感が増え、7日に発表された米雇用統計など経済統計の好調を背景にしたドル買い円売りが継続。8月の米国の非農業部門雇用者数は前月比20万1000人増、失業率は前月と変わらずの3.9%、平均時給上昇率は前年比2.9%へ加速。時給の伸びが加速したことを受けて物価上昇圧力が高まるとの見方から米金利が上昇し、ドル買い要因となった。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機筋の買越幅は1万1170枚となり、前週と比べ3207枚拡大。

イタリアのトリア経済・財務相が9日に負債圧縮と財政赤字抑制の必要性を強調したことで、同国の財政悪化に対する警戒感が緩和し、ユーロ買い材料とされた。また、英国の欧州連合(EU)離脱交渉を担うバルニエEU首席交渉官は10日、11月中にも英国との交渉をまとめられる可能性があるとして早期合意の見通しを示したことでポンド高となったこともユーロを押し上げた。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
05/29	108.75	-8,036	1.1535	93,037
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
06/12	110.38	5,052	1.1744	88,225
06/19	110.08	-35,562	1.1588	36,118
06/26	110.07	-34,221	1.1646	33,904
07/03	110.57	-38,730	1.1658	36,747
07/10	111.26	-39,832	1.1747	24,357
07/17	112.85	-58,650	1.1662	21,407
07/24	111.19	-73,769	1.1682	29,640
07/31	111.75	-68,457	1.1696	22,825
08/07	111.37	-62,807	1.1598	10,565
08/14	111.14	-58,368	1.1343	-1,789
08/21	110.22	-47,406	1.1571	-4,841
08/28	111.17	-46,041	1.1694	-7,219
09/04	111.45	-51,932	1.1582	7,963
09/11	111.56	-53,886	1.1606	11,170
前週比	0.11	-1,954	+0.0024	+3,207



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。